

3月25日 千島列島東方（北西太平洋）の地震

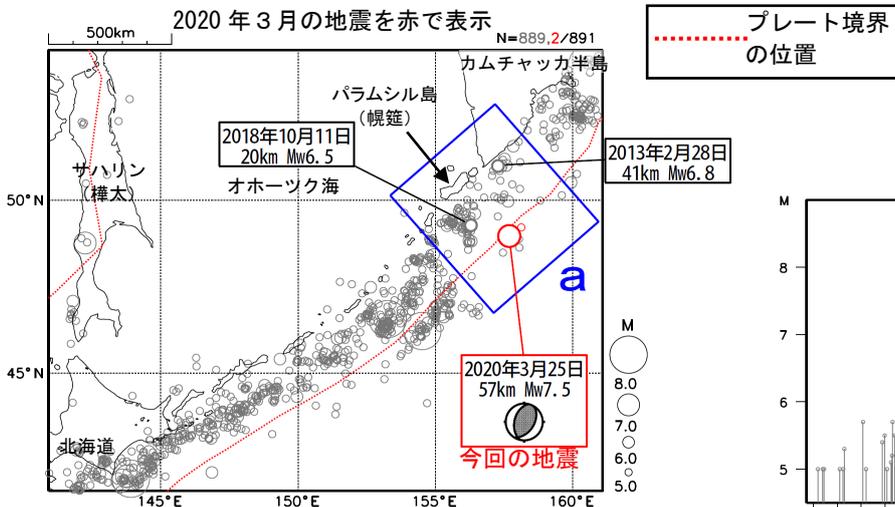
2020年3月25日11時49分（日本時間、以下同じ）に、千島列島東方の深さ57kmでMw7.5（気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震は太平洋プレートの内部で発生した。この地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である（気象庁によるCMT解）。この地震により、北海道から東北地方太平洋側までの13市町村で震度1を観測した。また、気象庁は、この地震に対して、「各地の震度に関する情報」の中で、「日本の沿岸で若干の海面変動あり」との呼びかけを行った。この地震により、千島列島のパラムシル（幌筈）島で0.5m（目視）、カリフォルニア州クレセントシティで0.11m等、津波を観測している（アメリカ海洋大気庁（NOAA）による）。

2000年以降の地震活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域a）ではM6.0以上の地震が時々発生している。

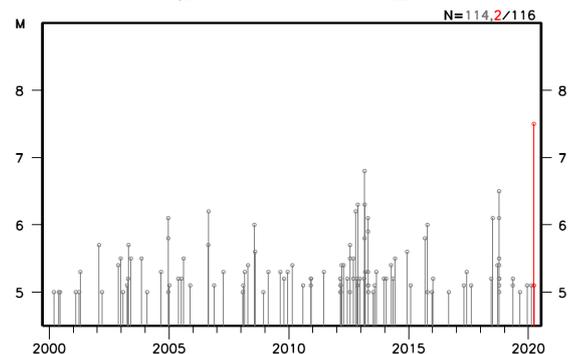
1980年以降の地震活動をみると、千島列島（領域b）ではM7.0以上の地震が時々発生している。2006年11月15日に千島列島東方で発生したMw8.3の地震では、津波が発生し、三宅島坪田で84cmの他、北海道から沖縄県宮古島・八重山地方までの主に太平洋側沿岸、及び小笠原諸島で津波が観測された。

震央分布図

(2000年1月1日～2020年3月31日、深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)

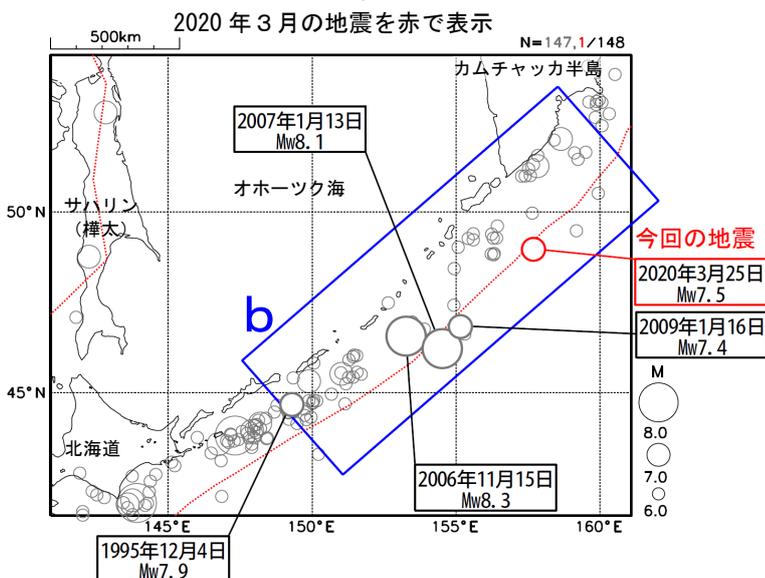


領域a内のM-T図

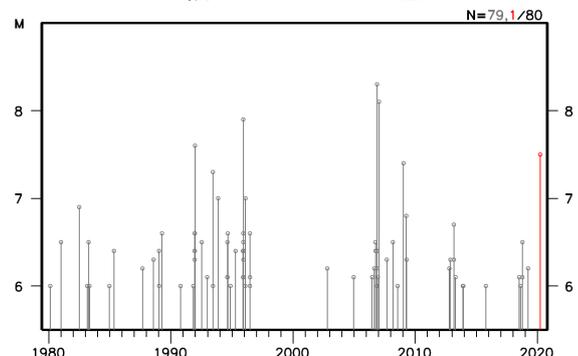


震央分布図

(1970年1月1日～2020年3月31日、深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)



領域b内のM-T図



※本資料中、図中の吹き出しのある地震のマグニチュードについて、今回の地震は気象庁、それ以外はグローバルCMTによるモーメントマグニチュード（Mw）である。その他の震源要素は、米国地質調査所（USGS）による（データ入手日：2020年4月1日）。プレート境界の位置はBird（2003）*より引用。地震の被害状況について、出典のないものはOCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs: 国連人道問題調整事務所）による。

*参考文献

Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.